

# 「オープンデータの政策動向と ビジネス創出パターン」

これまでICTの利活用は、個別分野ごとの情報化の促進が中心でしたが東日本大震災を経験し、情報の横の連携の重要性が指摘されるようになりました。

急速に進展してきたブロードバンド環境を活かし、組織や業界内で利用されているデータを社会でオープンに利用できるようにすることで、行政、医療、教育、農業など今まで個別分野で推進してきたICTの利活用が面的に充実していきます。

社会に大きな影響を与え、新事業・サービスの展開が期待される「オープンデータ」について、専門家に話を伺います。

**講師 株式会社公共イノベーション  
代表取締役 川島 宏一 氏**

**日 時** 平成25年11月6日(水)  
午後1時30分～午後3時00分  
**場 所** 北海道総合通信局第1会議室  
**対 象** 北海道テレコム懇談会会員  
**参加費** 無料

**講師 川島宏一**  
(かわしまひろいち)



(株)公共イノベーション代表取締役、佐賀県特別顧問  
オープン・ナレッジ・ファウン  
デーション・ジャパン共同創設  
者、社会学博士

## 【略歴】

1959年茨城県土浦市生まれ。  
国土交通省、インドネシア住宅省、北九州市、世界銀行、佐賀県（CIO：最高情報統括監）を経て2012年より現職。  
社会学博士（筑波大学）、都市計画修士（MIT）。  
専門は公共イノベーション。

2006年から5年間佐賀県CIOとして業務改革と情報化を牽引。予算の完全開示から公民協働を進めた「協働化テスト」が日本で初めて国連公共サービス賞を受賞する（2010年度）。日経BP・ITガバナンスランキング都道府県部門第1位（2008年度・日経BP社）。都道府県CIOフォーラム会長（2007年度）。自治体クラウド、診療録連携システム、フューチャースクール、情報化ビレッジ等を手がける。IT戦略本部・電子行政オープンデータ実務者会議ルール・普及WG主査（2012年～）、経済産業省IT融合フォーラム/公共データワーキング座長（2012年～）などを歴任。

## 【論文等】

現在、日経BPガバメントテクノロジー『川島宏一の行政CIOの視点』を連載中

<<[http://itpro.nikkeibp.co.jp/bn/mokuji.jsp?OFFSET=0&MAXCNT=20&TOP\\_ID=365713](http://itpro.nikkeibp.co.jp/bn/mokuji.jsp?OFFSET=0&MAXCNT=20&TOP_ID=365713)>>

第1回 世界の潮流：オープンガバメントデータ (2011.10.06)

第2回 オープンガバメントデータ：霞ヶ関と自治体の動き (2011.11.29)

第3回 情報を提供する行政から、情報の流れを良くする行政へ (2012.01.18)

第4回 公共データのオープン化で新しい成長市場の創出を(2012.02.29)

第5回 動き出した政府情報システムの刷新 (1) (2012.05.29)

第6回 動き出した政府情報システムの刷新 (2) (2012.07.03)

第7回 動き出した政府情報システムの刷新 (3) (2012.10.12)

佐賀新聞社コラム「公共情報、「オープン化」の意味と意義」(2012.4.10)

<<<http://blogos.com/article/36290/>>>